

## 25時間ウルトラ駅伝から36年の玄海トライアスロンクラブ

NO3 大土善晴

1988年昭和の終わりの昭和63年に北九州市制25周年を祝い、北九州市役所RCが企画し25時間走ろうと言う事が決まり「北九州市ウルトラ駅伝大会」が1回だけの大会が12回も続いた。

その頃は、ウルトラマラソンが珍しい時代に、参加チーム集めるのに大変苦労した。私が知っている、クラブチームに声をかけ7チーム、役所RCは、各区の消防署などに声をかけ9チーム計16チームで始まった。主催の北九州市役所RCは、Aチームはみんなで走る。Bチームは5人で25時間を走る。そしてCは、私が一人で走る事になった

玄海トライアスロンクラブも1回から参加した。

一回目の順位は16中9位だった。

その後12回の大会までで玄海トライアスロンクラブ成績は優勝5回2位1回3位1回の輝かしい成績記録でした。(1回大会の写真→)



←右の写真は、4回大会の日刊スポーツ裏一面の写真です。  
胴上げは小園さんです。



一周のインターバルが続き、もう走れないと言いつつタスキを受け取ると猛ダッシュ

この頃が玄海トライアスロンクラブの最強クラブチームだった。5回大会も連覇で6回大会は小倉自衛隊とインターバル合戦に破れ2位だった。8回大会は第二機動隊が「打倒玄海トライアスロンクラブ」を掲げ参戦し力尽き門司高校陸上部2位で3位に甘ん

じる

9回10回は、連覇しここまでがクラブとしてピークだった。

11回はどうにか入賞の8位最後の12回大会は60/13位。この大会で終わりを告げた。

規模が膨らみ、最後になった12回大会は60チーム2600人以上となり運営が難しくなり惜しまれつつ幕を下ろす

25時間駅伝を、惜しむ人達が集まり自分たちで、無理なく楽しめる大会をめざし7時間走となり名称も北九州市花のひまわりをかぶせ「北九州市民ひまわり駅伝大会」として市民ボランティア主催をはじめた。

私は25時間駅伝から、携わっていたことで実行委員長なり、雨が降ったら辞任と言うことで引き受けた。

奇跡的に雨は降らず2, 3回の小雨はあったが、大会に支障なく辞任は免れコロナで2回中断後20回大会を迎えた。

玄海トライアスロンクラブの、ひまわり駅伝大会は、記録より選手集めが大変だった、25時間駅伝は、みんなが集まってくれたが、ひまわり駅伝大会はクラブの熱が冷めたのか？

選手があつまらない 1回大会の2位が最高で2回大会5位入賞を最後に下位に低迷し以降浮上する事なく20回を迎えた。

この第20回北九州市民ひまわり大会が最後となり新たな大会と生まれ変わる。玄海トライアスロンクラブは、勝山リレーマラソン1回大会は選手が高齢化そして故障者で他のチームから助っ人を頼みどうにか完走した。25時間→ひまわり→そして勝山リレーマラソンと1988年から繋いだたすきは勝山リレーマラソン2回大会不参加で途切れてしまった。

第20回  
北九州市民ひまわり駅伝大会

日 時 : 2022年5月31日(日) スタート19時 ゴール14時  
場 所 : 北九州市立中央体育館(勝山公園内)の周回コース

大会場内全て  
禁煙

Enjoy  
駅伝

■主催：北九州市民ひまわり駅伝実行委員会  
■共催：北九州審判会自転車部協議会 TEAM 城下町小倉川同業連  
■後援：北九州市 関No Love 小倉駅協会

勝山公園 2023  
in KITPUKUYUSHU  
リレーマラソン

記録証

ナンバー：17  
チーム名：玄海トライアスロンクラブ  
種目：6時間耐久リレーマラソン  
順位：第46位  
記録：84周回（約65.52km）  
（5時間59分07秒）

貴チームは、第1回勝山公園リレーマラソンにおいて、上記の記録で見事完走されたことを証します。

令和5年5月14日  
勝山公園リレーマラソン実行委員会